

## 「子どもたちに平和な未来を 2019」を 開催しました！

2019年8月10日、習志野市モリシア多目的ホールで、「子どもたちに平和な未来を2019」を開催しました。この企画は、平和の大切さと核兵器の廃絶について考え、各生協の活動を交流することを目的に毎年開催しています。

今回は、「平和のこと一緒に考えよう！」をテーマに、子どもが主役になれる場をつくり、全体の企画やグループ交流を通して、平和の大切さを参加者自身が感じ、次につながることや行動してみたいことが発見できるような場を応援しました。参加者は小学生から大学生の32名を含む96名でした。

全体企画は、ダニー・ネフセタイ氏の講演と「柏・麦わらぼうしの会」の朗読劇をおこないました。

グループ交流では、子どものグループにグループリーダーとして大学生が入り、交流をすすめました。

会場には被爆の実相のパネル「原爆と人間」、千葉県ユニセフ協会のパネル「ユニセフってなあに」、日本赤十字社千葉県支部の活動紹介のパネル、千葉空襲のパネルを展示しました。ヒバクシャ国際署名などの署名コーナーも設けました。

### 講演：武器を持てば平和になるの？

～イスラエルからきたユダヤ人家具作家の平和論～

講師：ダニー・ネフセタイさん

#### 【ダニーさんのプロフィール】

1957年、イスラエル生まれ。高校卒業後、徴兵制によるイスラエル軍入隊。退役後、アジア、日本各地を旅して、交流を深める。語学の勉強後、神奈川の家具会社に勤め、埼玉県皆野町で、木工房ナガリ家を開設。

#### 【講演要旨】

今、世界にある一番小さい核兵器でも、ヒロシマ・ナガサキに落とされたものより大きなものです。武器を持てば平和にはなりません。イスラエルでは徴兵制があり、全国民が18歳から男性は3年間、女性は2年間の兵役義務があります。パイロットになった友人たちは素晴らしい人たちですが、戦争になれば素晴らしい人も人を殺します。

子ども同士での殴り合いのケンカで解決をしてはいけないのと同じく、国同士もケンカによって解決をしてはいけません。戦争のない世の中をつくらなくてはならないのは私たちです。3歳からの乗り物図鑑『はじめてのはたらくるま』に戦闘機や戦車が働く車と紹介されていました。不適切と多くの読者からの指摘があり、増刷が中止になりました。



未来のために声を上げましょう。家族やご近所の人と話をしましょう。明日から「私」ができること、一人ひとり何かをやってみましょう。

**朗読劇：あの日 出演：柏・麦わらぼうしの会**

広島と長崎の被爆者の方の手記から構成した朗読劇を披露していただきました。

【活動紹介】「柏市民公益活動サイト」より  
戦争や原爆を体験された人々の思いを風化させてはいけなと原爆体験者の手記を朗読してきました。平和の尊さ、命の大切さを多くの人たちに語り継ぎ、大人と子どもがともに考える機会となることを願って活動しています。

**【朗読劇要旨】**

74年前、日本は戦争をしていました。1945年8月、広島・長崎に原子爆弾が落とされ、多くの方々が亡くなりました。『8月6日の朝、私たち家族はいつもの朝を過ごしていた。警戒警報が一度は解除になったが、そのあとB29が戻りマッチ箱のようなものを落とした。その時、ピカリと光り、赤鬼が立ったように見えた。』『山里小学校4年生の僕は5歳の時被爆した。8月9日、敵機一と見張りの鐘がなり、おばあさんの手を取り壕の奥へ飛び込んだ時、ピカッと光り、強い風で壕の壁に叩きつけられた。防空壕から見た景色はみんな燃えていた。妹はあくる日に、お母さんはそのあくる日に亡くなった。』



**グループ交流**

子どものグループでは、千葉大学生協と東邦大学生協の学生委員がグループリーダーとなり交流をすすめました。ダニーさんのお話や朗読劇を観て、感想や気付いたことなどを出し合いながら、「平和新聞」を作りました。始めは感想を出すのが難しい雰囲気でしたが、少しずつ気持ちを出せるようになりました。短い時間でしたが、協力して新聞を完成させました。



大人のグループは、講演と朗読劇から、どんな感想を持ったのか、交流しました。最後に「伝えたい思い」はどんなことかを出し合いました。感想シートに『武器を使うのではなく話し合いで平和な世界でありたい』『平和とは、掌にあるものではなく作り続けていくものであることを伝えたいです』『身近なところでコツコツ伝えていくことが大切』など、伝えたい思いがあふれてきました。

**グループ発表**

Aグループは、小1～小2の元気な女の子6人が集まりました。新聞には、『ダニーさんのお話は、こわかった。ころされたくないとおもった。せんそうはだめだとおもった。へいわなにほんがいい。ぶきはいらぬ。』と書きました。





Bグループは、小3、小4の4人の男女のグループです。新聞には『せんそうにまきこまれると自分のやりたい事や友だちなどがいなくなると思ったからそんなせんそうなどがなくなるといいと思った』など、一人ずつ、感じたことを書き込みました。

Cグループは、小4、小5の男女のグループです。『戦争がなくなったら平和になると思った』など、わかったことや感想を一人ずつ出し合いました。今後出来ることは、『けんかしない、させない』ことです。



Dグループは、小5、小6の男女のグループです。自分達に出来ることは何かを出し合いました。『選挙に参加する』『広島・長崎に行って学ぶ』『家族で話す』など、具体的で積極的な意見が発表されました。

Eグループは、小6から中2の女の子のグループです。『戦争の記憶を次世代に！』『選別とか人を差別することはよくない！』『戦争ではなく愛を』『武器を持って平和にはつながらない』など、平和への熱い思いを語りました。



参加者がハートでつながった集合写真です